

戦乱に巻き込まれた
人々も、徐々に
その環境に順応し



戦場で放棄された
兵器の残骸を
拾い集め金にして
人々は「生きて」いた







コックピットごと
脱出して
二日、本隊はとつくに
本国へ撤退
見捨てられたな……

地面に叩きつけられた
シヨックでコックピットの
機能維持用の
バッテリーが外れたかな



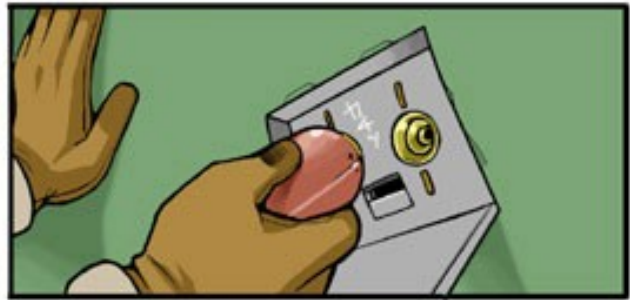
体の方も
おかしくなってるな

仮死モードへの
切り替えも出来ない

両手首、
両太ももから下
右肩、左肘が
完全にイカレテル

仮死モードに
出来ない今
体内エネルギーの
生命維持は
1ヶ月くらいか……







コイツ何で
生きてるんだよ!



ちょっと待ってくれ!
私は動けないんだ
本当だ!



私はアストアの軍人
ブルックリン・ラーズ少尉だ
先の戦闘で機体破損のため
やむなく戦線を離脱し
このような状態になっている

ほ、ほんとうか?

ああ





そうだ
謝礼を支払おう！

あんたのお仲間は
2日前に撤退したきり
何の動きも無いぜ



十字

なんだと
テメエ！

君が望むなら
我国で充分裕福な生活と
きちんとした教育が
受けられるように
私が口添えを
してあげても良いぞ

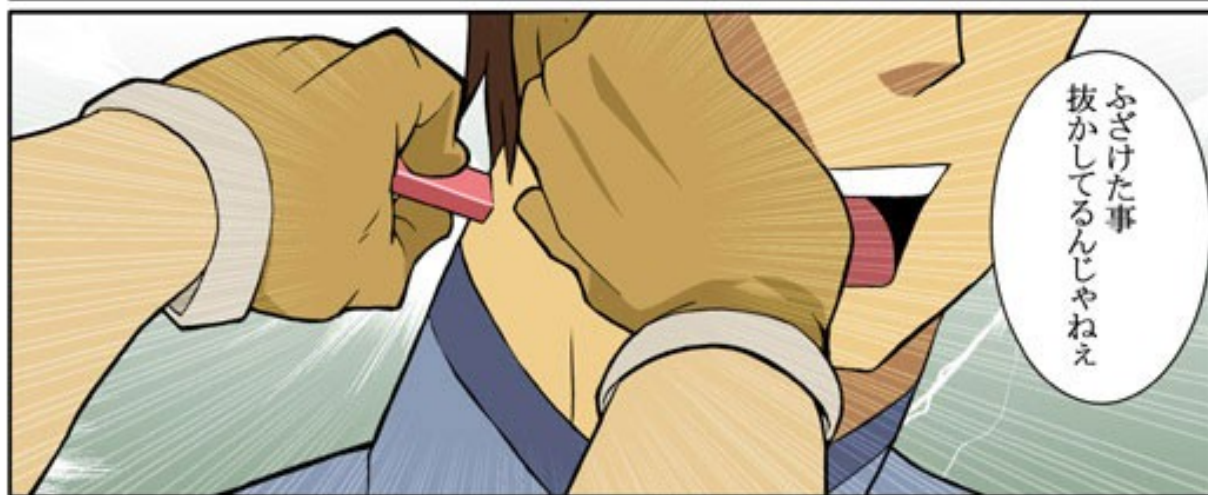
私の家はそれなりの家柄だ
私を助けてくれれば
それなりの金額を
支払う事が出来る

こんな人のものを漁るような
ハイエナみたいな
ジャンク屋の生活から
抜けだして、
人としてまっとうな
生き方を出来る
チャンスを受けよう


君が1年、いや2年は
遊んで暮らせるだけの
金額を用意しても良い



バカにしやがって



ふざけた事
抜かしてるんじゃないやねえ




これは俺が組んだ
特殊プログラムだ




サイボグの首から下の
神経回路を完全修復
と同時に、各関節に
可動停止命令を送る

痛みは感じるし
筋肉は動くが
関節には「動くな」って
命令されているからな
拷問には丁度いいんだよ



ハイエナで悪かったな！
それでも俺達は
自力で生きていくために
必死なんだよ！

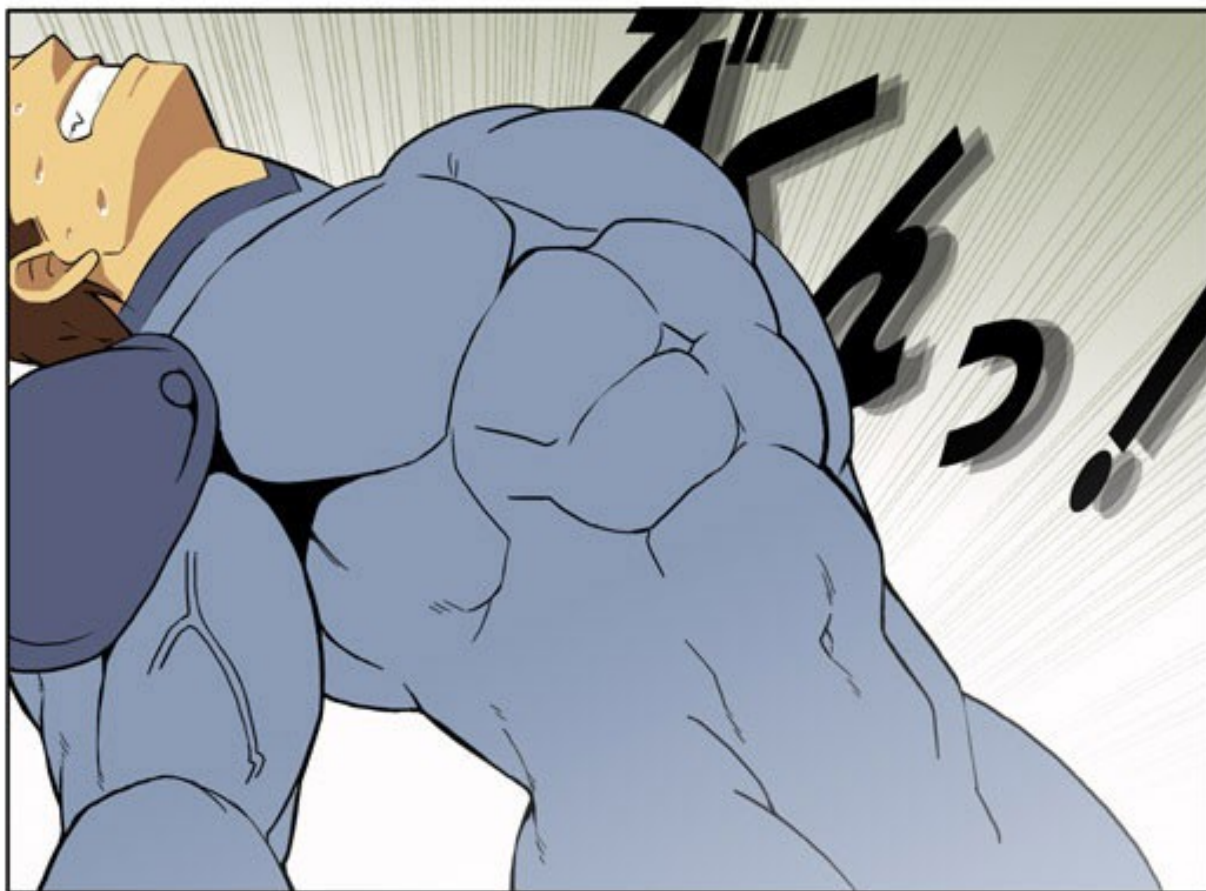


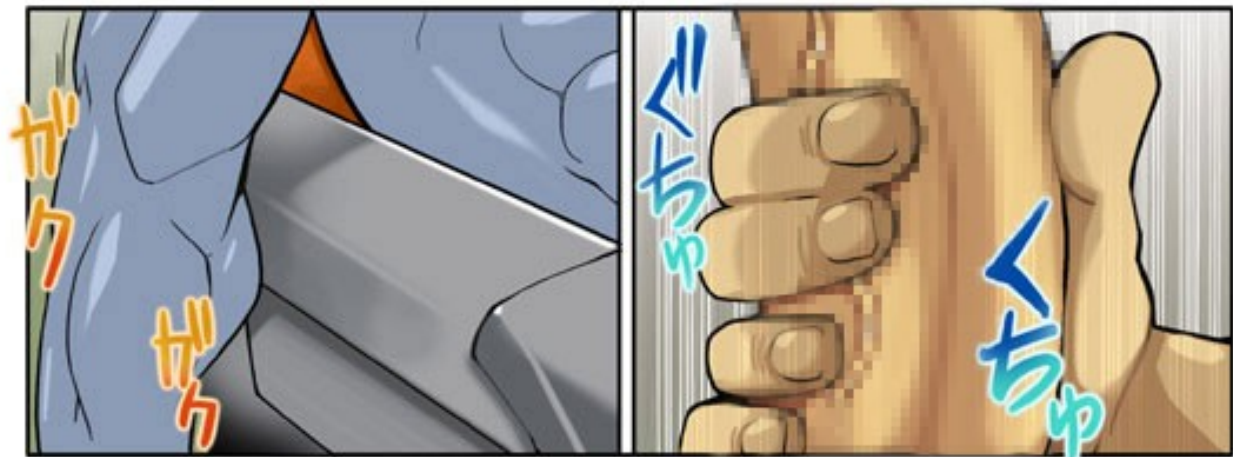
思い上がりで戦争して
悦に浸っている
お前達軍人に
恵んでもらうほど
落ちぶれちゃいねえ！











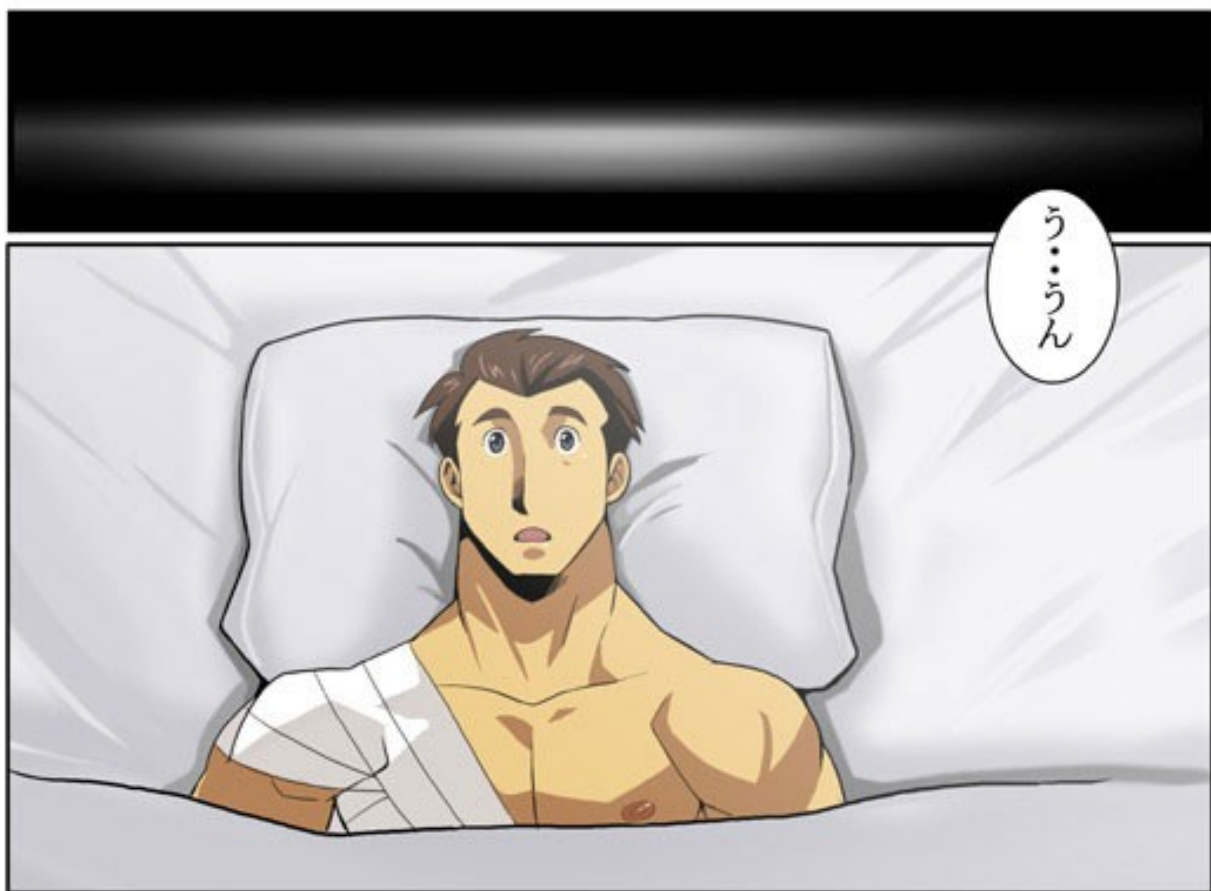
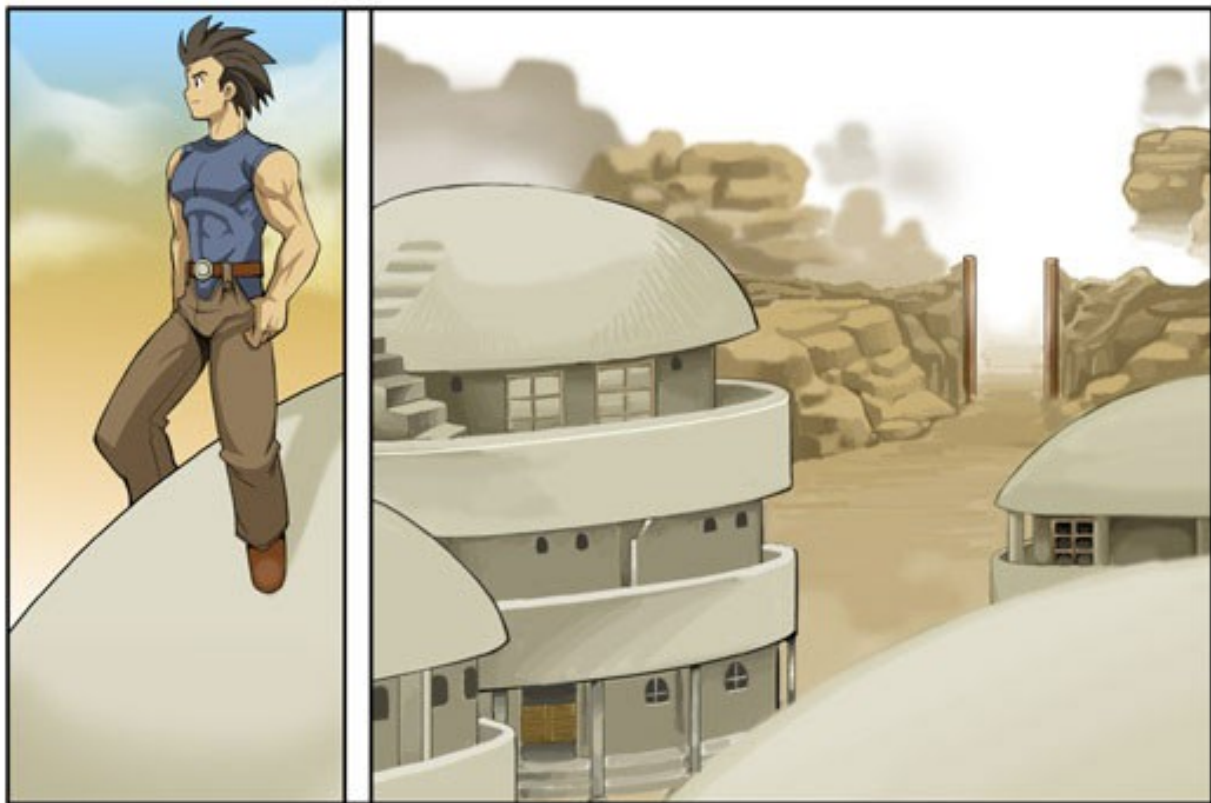


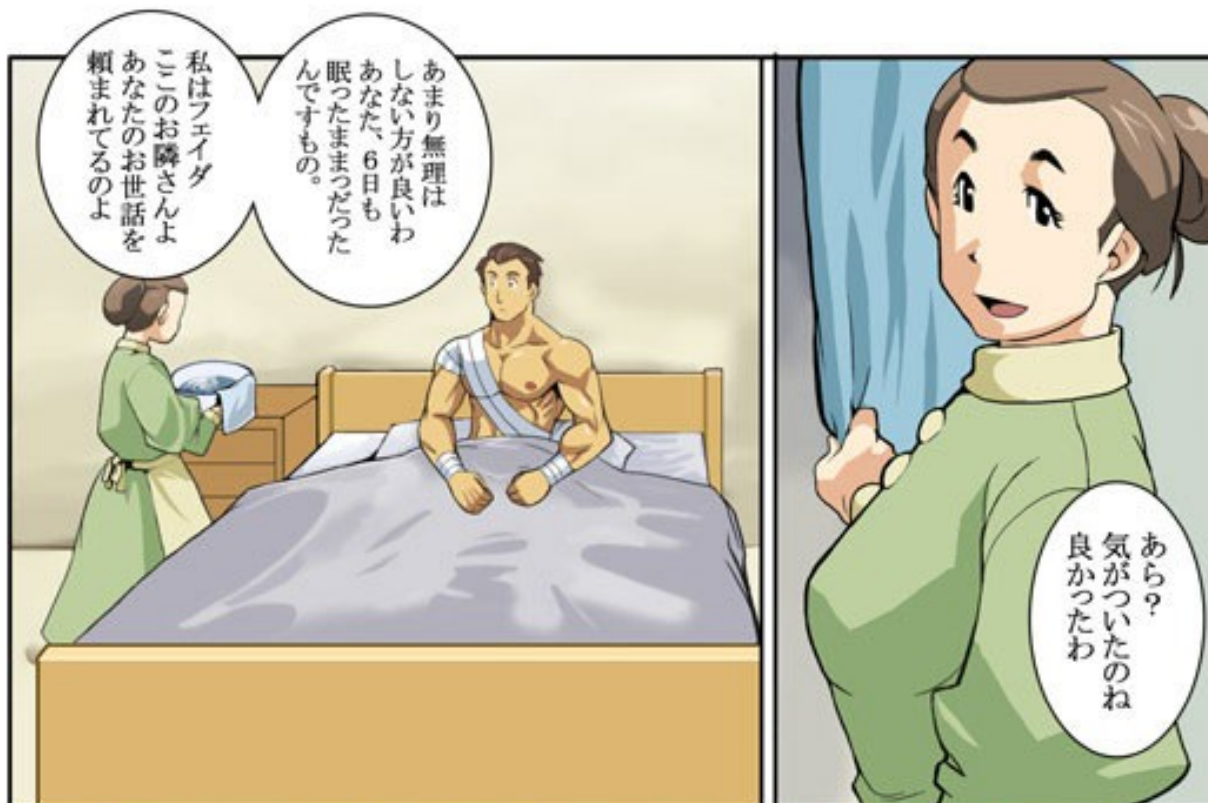
あゝあゝ
あゝあゝ

イツ
イクウ〜!









まさか……

でも珍しいのよ
あの子が軍人を助けても
自分で修理したり
こうやつても面倒を見るなんて
初めてじゃないかしら

それで
ビート君は？

今は屋根に
上つてるんじゃないかしら
あの子のお気に入りの
場所なの

そのベランダの
階段から上がれるわ
あなたの着る物は
今、亡くなった主人の
古着を修繕しているから
あとで持ってくるわね

あなた、食事は
普通の食べ物で
大丈夫かしら？

ええ

良かったわ
ビートの分と
用意するから
待っていて頂戴

ガキヤ

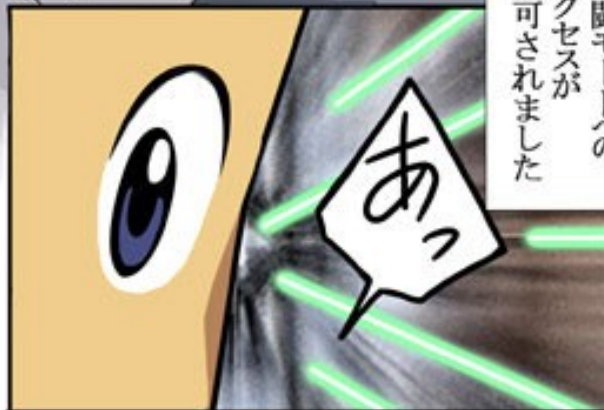


あのゲート
向こう側が戦闘領域で
ここはぎりぎり
非戦闘領域なんだ




ジャンクパーツで
生計を立てている連中が
集まってくる
そんな街だ

ここからなら
アストアとプリオスの
戦場を発見しやすいし
情報も入ってくる




戦闘モードへの
アクセスが
許可されました




好きにして良いぜ
戦闘モードのあんたなら
俺を殺すなんて簡単な
もんだろ？


軍人さんに恥をかかせて
無事で済むとは
思つてないよ




下に俺のバイクがある
好きに使つてくれ
アストアに帰る道も
ナビで判るように
しておいた



ただ、フエイダお婆さんや
街の人には
手を出さないでくれ



命を助けてやったんだから
それくらいの願いを
聞いてくれ
あとは好きにしてくれ



その選択肢に
...



私はずっと国のために
戦つていくのが
当たり前だと思つていた

その選択肢に
私がキミのそばに
残るといふのは
あるだろうか？



私に出来る事は何でもする
だからキミのそばで
学ばせて欲しい



でも、戦争をしている今も
こうやって普通に生きている
人々が居る事を
私は知りもしなかった

キミを侮辱した事を
心から謝るよ



物好きだな
そんな事言つて良いのか？
また襲うかもしれないぜ？





END

2007.11

